

令和7年度 第1回学校評議員会並びに学校関係者評価委員会報告

1 日 時 令和7年6月30日(月) 11:00～12:00 場所: あやぐも館

2 参加者

学校評議員(五十音順)

井 上 恵 一(野村石油(株)代表取締役)
楠 真 紀(特別養護老人ホーム寿楽苑施設長)
熊 谷 琢 磨((株)フローラルクマガイ代表取締役)
土 居 真 二(溪筋地域づくり活動センター長)

学校関係者評価委員(五十音順)

岡 部 一 行(野村中学校教頭)
酒 井 康 次(西予市野村支所産業建設課長)
笹 井 弘 樹(城川中学校教頭)
谷 本 英 樹(有限会社タニヤ代表取締役)

野村高校学校職員

松 井 由紀子(校長)
一 色 卓 也(教頭)
清 水 和 則(事務長)
門 田 生(総務厚生課長)
牧 野 成 員(教務課長)
三 瀬 修 平(生徒課長)
松 木 敦 志(進路課長)
小 山 尊 浩(人権研修課長)
小 西 真由子(学校魅力推進室長)
兵 頭 宏 美(農場長)
岩 本 千 加(2年学年主任)
宮 本 昇 二(1年学年主任)
宮 岡 武(総務課)

3 次 第

(1) 開会の言葉

(2) 校長あいさつ

本年度の教育活動・方針を策定した。本年度は創立80周年となり、のむこうふれあい動物園など様々な取組をはじめている。本校は生徒が学校行事、部活動共に活発に取り組み、地域との連携も適切にできていると自負している。いよいよ後期再編計画もスタートするが、様々なことに挑戦してよりよい学校へと成長していきたい。忌憚のない御意見・御指導をお願いしたい。

(3) 議 題

ア 自己紹介

イ 令和7年度自己評価等説明(教頭)

ウ 各課説明(各課長・学年主任)

各課長・学年主任より資料・口頭にて説明

- ・総務厚生…80周年に向けて、高校祭などを通じ、PTAとの連携を強めたい。
- ・教務…探究活動の充実を図っている。
- ・生徒…適切な身だしなみ指導を行いたい。昨年度の初回合格率は92.7%であった。
- ・進路…国公立大学合格者の数が飛躍的に増加した。(実人数7名→13名)
- ・人権研修…電子図書館の適切な運営を心掛けたい。

研修等に関して、単に参加するのではなく、内容の充実を図りたい。

- ・農場 …農業関係者に関し、愛玩動物の学習も始まったため、動物関連の学校も後継者の比率の中に入ることにした。

エ 意見交換

○生徒の皆勤率について

- ・生徒・保護者の価値観の変化等もあり、出席率の低下が進んでいる。
- ・令和元年度以降徐々に低下しているが、何か対応をしているのか。
- ・生徒課、学年団、各ホームルーム担任が出席することの重要性を適宜説明している。朝の登校時における声掛けなど、地道な努力を重ねていきたい。
- ・中学校でも皆勤率の低下がおこっており、課題である。

○生徒の態度・あいさつについて

- ・毎日高校生と接する機会があるが、好ましい態度がとれている。継続して欲しい。

○地域行事等への参加について

- ・地域のイベントにも積極的に参加しよく手伝ってくれている、ありがたい。
- ・畜産科の地域ファームステイの受入を行っているが、生徒は礼儀正しく、熱心に、辛抱強く取り組んでいる。自分の高校時代と比較してもとても真面目だと感じ、好感が持てる。ただ地域ファームステイは夏の実施であるため、熱中症対策も含め、時期の検討をお願いしたい。受入側としても安心ができる。
- ・普通科の探究活動において生徒は地域に出向いてきているが、非常に熱心であるのを感じている。
- ・毎年の志望人数を見ると、徐々に減少している。少子化もありやむを得ないかとも思うが、学校と地域のさらなる連携の充実を図り、何とか対処できないかと考えている。
- ・色々な地域行事に参加しありがたいと思うが、自分の頃と比較すると高校生は忙しいのではないかと、心配している。
- ・動物ふれあい部、各所で活躍している。明浜町のイベントにも参加し、感謝の言葉がこちらにも伝わっている。地元の菓子店とのコラボもありがたい。

○進路指導について

- ・資料によると生徒の進路満足度が 100%となっている。先生方の努力を感じる。少人数の特徴を生かし、今後も良い指導を継続してほしい。
- ・中学校でも地元野村高校への進学希望者は多数いる。一般論であるが、今の高校生は高校で自分がどうしていくか考えるよりも、高校が自分に合ったものかどうかを判断しているように思う。難しいとは思いますが、生徒が野村高校は自分にあった学校であると感じ、2、3年後にしっかりと輝けるような指導をお願いしたい。

○部活動について

- ・相撲部が中学校との連携を行っているが真面目で熱心である。ありがたく思っている。
- ・相撲部の県総体、四国総体の優勝は関係者としても地域としてもうれしいことである。先輩の風賢央関も十両上位に昇進している。今度も頑張ってもらいたい。

(4) 事務連絡

(5) 校長あいさつ

改めて地域の方々の支援の大きい学校だと感じている。今後も地域と一体となり、存続をかけて取り組んでいきたい。

(6) 閉会の言葉